

平成18年11月30日

各 位

会社名       ロイヤルホールディングス株式会社  
代表者名     代表取締役社長 今井 明夫  
              (コード番号 8179 東証第一部、福証)  
問合せ先     執行役員広報室長 城島 孝寿  
(TEL         03-5707-8852)

### 来年度新体制および分社化（第2フェーズ）計画について

当社は、本日開催された取締役会において、来年度の新体制等にかかわり、以下の内容を決議いたしましたので、その内容をお知らせいたします。

1. 取締役に対する事業部門の委嘱について
2. 当社の組織再編について
3. 子会社ロイヤル株式会社についての体制見直しについて

それぞれの内容並びにその目的につきまして、下記にその詳細を記載いたします。

#### 記

### 1. 当社の体制について

#### <取締役への事業部門委嘱>

当社は、平成17年7月に持株会社制に移行し、平成17年11月18日に発表した中期経営計画“NEXT50”において掲げた中期経営目標を達成すべく、分社の自主自立を前提とした経営体制をとっております。この分社体制の枠組みの中で、中期経営目標達成に向けたグループ全体の効率性を高めるため、取締役に対してグループの事業部門を委嘱することといたしました。当社グループは、ホスピタリティファミリーレストラン「ロイヤルホスト」をはじめとする外食事業、食品事業、機内食事業およびホテル事業を主な内容として事業活動を展開しておりますが、各事業についての取締役への委嘱は以下のとおりといたします。

取締役名	委嘱事業部門
今井 教文	食品事業
大野 晨生	機内食事業、 ロイヤルホスト部門フランチャイザー機能担当
前原 和洋	ホテル事業

ロイヤルホスト部門につきましては、フランチャイザー機能の見直しを委嘱する一方で、フランチャイジーとなる各地域分社については、従来の分権型経営を維持し、各分社の自主自立を引き続き促してまいります。新たに委嘱されたフランチャイザー機能は各地域分社を支援する機能として効率化を進め、自己改革を図ることを目的としております。

なお、ロイヤルホスト部門以外の外食事業につきましては、各分社が自らの事業領域において、自主自立の経営が一定の成果を上げているものと評価し、引き続き現在の分社体制を維持していく方針です。

また、取締役に対する事業部門の委嘱は平成19年1月1日より実施いたします。

### <当社の組織見直し>

当社は、グループ全体の経営管理をその主たる機能としておりますが、今後その機能の見直しを行い、以下の変更を実施することといたしました。今次変更は、上場企業に対して近年その要請が高まっているIR機能、CSR機能（含む環境問題対策）をそれぞれ強化することと、持株会社体制下におけるグループマネジメント力をより一層高めることを目的としております。

現組織	新組織	業務内容
財務経理部	財務部	財務企画、IR
	経理部	経理
関連事業部	グループマネジメント部	管理会計、グループ会社経営指標の分析
広報室	広報部	広報、CSR（含む環境問題対策）

上記体制変更に加えて、金融商品取引法施行に伴う内部統制体制の整備にかかわり、総合企画部内に、いわゆる「日本版SOX法」対応チームを新設し、その準備体制を整備いたします。

当社の組織見直しにつきましては、平成19年1月1日より実施いたします。

なお、上記組織変更に伴う、平成19年1月1日付の人事異動は以下のとおりです。

氏名	役職・新	役職・旧
藤岡 聡	執行役員 財務部長	執行役員 財務経理部長
木村 公篤	執行役員経理部長 (兼) ロイヤルマネジメント(株) 取締役副社長	ロイヤルマネジメント(株) 取締役副社長
三田村 達也	執行役員 グループマネジメント部長	執行役員 関連事業部長
城島 孝寿	執行役員 広報部長	執行役員 広報室長

## 2. 子会社ロイヤル株式会社の再編について

### ＜フランチャイザー機能の見直し＞

分社体制に移行後、ロイヤルホスト部門については、フランチャイザーであるロイヤル(株)と、フランチャイジーと位置づけられる各地域分社が、機能を分担する体制としておりました。分社体制の下、フランチャイジーである各地域分社は、独自の業態を開発するなど、市場に応じた営業を展開し一定の成果を上げておりますが、一方でこれに対応するフランチャイザー機能の早急な見直しが必要と判断いたしました。

分社体制において必要となるフランチャイザー機能は分社支援型であるとの考えに立ち、現在のロイヤル(株)の組織を、効率的に分社を支援する体制とするため、工場・購買・物流、メニュー企画等のフランチャイザー組織全体を聖域なく見直しを行ってまいります。外食業界に共通の機能についてはフランチャイザー機能から切り離し、外部自立化も一部検討してまいります。その先行例として設計建築部門の外部自立化を平成19年4月をめどに実施する方針です。ロイヤル(株)におきましては、設計建築部門だけではなく、その他の共通機能についても、今後のフランチャイザー機能の見直し過程で必要に応じて機能の外部化を検討してまいります。

製造部門については、これまでロイヤルホストのフランチャイザーとしての製造機能を担う一方で、余剰の製造能力を活用して外販を行うという体制をとっておりましたが、新体制においては製造部門と外販部門を統合することにより製販一体となって、生産性、効率性を高め、外部自立化を含めて食品事業を強化してまいります。

また、フランチャイザー機能の再編と併せて、ロイヤルホスト部門全般の収益性を高めることを目的に、外部の外食専門コンサルティング会社と契約し、ロイヤル(株)の首都圏4カンパニー（ロイヤル東関東、東東京、西東京、神奈川）を統括するロイヤル関東の運営強化を目的に人材の派遣を受けることといたしました。ロイヤル関東において外部のコンサルティング会社の協力を得て、成熟化した外食市場において、今後、中長期にわたって存続しうる新たなロイヤルホストの創造に向けた実験を行ってまいります。フランチャイザー機能とフランチャイジーという車の両輪について同時並行で改革を進めることで、その改革を加速することを目的としております。いずれの改革も6ヶ月をひとつの目安として結果のレビューを行う予定としております。

なお、上記再編に伴う人事異動は、予定を含め以下のとおりです。

①取締役候補者（予定）

候補者名	役職（予定）	備考
大野 晨生	代表取締役社長	ロイヤル(株)株主総会後就任予定

大野晨生は、現在、当社100%子会社であるロイヤル関西株式会社、並びに株式会社関西インフライトケイタリングの代表取締役社長を務めておりますが、引き続き兼務の予定です。

②カンパニープレジデント（平成18年12月1日付）

氏名	役職・新	現職 等
今井 教文	製造部門 プレジデント	代表取締役社長（兼） ロイヤル関東 西東京プレジデント
坂入 佳夫	ロイヤル関東 統括プレジデント	——
丸山 茂樹	ロイヤル関東 西東京プレジデント	——
小池 正樹	ロイヤル関東 神奈川プレジデント	——

なお、今井教文は、12月中旬開催予定のロイヤル(株)株主総会までは代表取締役社長を兼務いたします。

### 3. グループの再編について

#### <第2フェーズへの移行>

<フランチャイザー機能の見直し>において記載しましたとおり、当面6ヶ月は新たなロイヤルホスト部門の創造に向けた実験と組織整備を進めてまいります。したがって、第2フェーズにつきましては、ロイヤルホスト部門以外の部門を先行し、準備が整い次第、その他の分社整備を進めてまいります。ロイヤルホスト部門にかかわる分野につきましては、フランチャイザー機能の見直しとロイヤル関東における実験の結果を踏まえ、必要な分社化を来年度順次進めてまいります。

なお、ロイヤル(株)に属する専門レストランについては、平成19年3月1日(予定)に以下のとおり、グループ内事業譲渡を行い、その体制整備を完了する予定です。

①ロイヤル(株)から(株)ドウ・レストランツ・ファンへの事業譲渡予定店舗

いねや(2店舗)

モディッシュ(3店舗)

ロイヤルキャフェテリア東京国際フォーラム店

②ロイヤル(株)からロイヤルカジュアルダイニング(株)への事業譲渡予定店舗

焼肉万歳(2店舗)

毘沙門東京ドームホテル店

ロイヤルキャフェテリア東京ビッグサイト

セントラルキャフェテリア

ロイヤルガーデンコート

WBGクラブラウンジ

また、平成17年11月に分社予定として開示した上記以外のロイヤル東北、ロイヤル関東、ロイヤル中部、ロイヤル中国、MEマフィンにつきましては、今後新設分割を活用して分社化を進めてまいります。時期、内容が確定次第順次開示してまいります。

以上